

令和元年度第1回日進市行政改革推進委員会 議事録

日 時 令和元年7月8日(月) 午後2時から午後4時10分まで

場 所 日進市中央福祉センター2階 多機能室(北)

出 席 者 齊藤由里恵、金澤敦史、内藤正勝、志水佳三、中條元男、恒川孝司、
三村剛、岩佐智生、上田信子

欠 席 者 なし

事 務 局 石川達也(企画部長)、辻武(企画部調整監)、水野隆史(企画部次長兼企画政策課長)、
安彦直美(企画政策課課長補佐)、山浦勝義(企画政策課企画経営係長)、中根友樹
(企画政策課企画経営係主事)

説明の為に
出席した者 加藤慎司(環境課長)、石川博之(環境課主幹)、山田和典(環境課課長補佐)、近
藤香織(企画部次長兼秘書広報課長)、所俊邦(秘書広報課課長補佐)、白木誠(秘
書広報課広報広聴係長)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 あり(3名)

次 第 1 開会
2 市長あいさつ
3 自己紹介
4 会長及び職務代理者の選出
5 諮問
6 議題
(1) 令和元年度事務事業の外部評価について
(2) 第2次経営改革プランの進捗状況について
7 閉会

配 付 資 料 資料1 令和元年度事務事業の外部評価
資料2 令和元年度事務事業の外部評価の説明資料シート
資料3 第2次日進市経営改革プラン進捗状況総括表
資料4 第2次日進市経営改革プラン推進シート

発 言 者	内 容
事 務 局	1 開会
	2 市長あいさつ
	3 自己紹介
	4 会長及び職務代理者の選出
	5 諮問 令和元年度事務事業の外部評価について
	6 議題

発 言 者	内 容
会 長	それでは、本日の会議の流れについて、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	次第に沿って会議の流れについて説明。
会 長	はじめに、議題（１）「令和元年度事務事業の外部評価について」、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	（資料１に沿って説明）
会 長	それでは、まず事務事業型評価として、「資源ごみ回収推進事業」について、担当課から説明をお願いします。
環 境 課	（資料２に沿って説明）
会 長	ただいまの説明に関して質疑・意見等がありますか。
委 員	事務事業評価シートの事業費の項目の主な内訳で、手数料、委託料、負担金、補助金とあり、説明の中で委託料は収集運搬と中間処理費用とのことであったが、委託の相手方と内訳を教えてください。また、本市の燃えるごみが約１万４千トンあり、資源ごみが約５千トンあるとのことだが、エコドームで回収されるごみの量はどのくらいあるのか。地域の子ども会やＰＴＡ、スーパー等で回収される資源ごみの量がどのくらいの量が想定されて、データをもっているのかどうか。東郷美化センターでは不燃ごみは埋め立て処理をしていると思うが。市町村ごとに処理される量は把握されていると思うので、そういったものを全て合わせると日進市全体では、ごみがどのくらいの量になるのか教えてください。
環 境 課	収集運搬につきましては２社に随意契約で委託しています。合特法（下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法）に基づき、一般競争入札ではなく、２社に随意契約をしています。エリアを決めて収集をしています。中間処理につきましては、容器包装リサイクル法にのっとりた処理となるため、業者が指定されます。市が選んでいるわけではなく、法律で指定された中間処理業者に持ち込む形となっています。資料中にあるごみの量については、約１万４千トンについては、可燃ごみであり、日常的に収集し、尾三衛生に持ち込まれるごみの量です。資源ごみ約５千トンについては、別の数字になります。団体回収や事業者回収についても、把握できる範囲については、データを持っています。例えば団体回収としてＰＴＡや子ども会が実施しているものについては、１，８００トン弱、平成３０年度の実績です。尾三衛生組合に直接持ち込まれる資源ごみについては、５０トン、事業者の回収は１，２３０トン、エコドームについては、２０数品目あるが１，７００トン弱が実績でございます。
委 員	経費の内訳の中で手数料とか、負担金とか補助金があるが、これの相手方と内容を聞きたい。それから特定財源の手数料はどこから入るのかを聞きたい。
環 境 課	特定財源の手数料はごみ袋を市民が買ったときの購入費であり、この中に処理手数料が含まれております。歳出の手数料は販売手数料であり、店で販売してもらったときに支払う手数料となっています。負担金については、小規模店舗が負担する容器包装分を市町村が負担することとなっております。補助金については、

発 言 者	内 容
	団体回収に対する補助金となります。
委 員	事務事業評価シートの見方を教えて欲しい。事業費について平成30年度の決算額と比べると令和元年度の予算がかなり上がっている。平成29年度と平成30年度を比較すると決算額も予算額も下がっているが、この決算額に対する予算額の上がり方には何か原因があるのか。アウトプット指標の指標名が資源ごみ量となっているが、資源ごみ回収量ではないか。回収量が増えて資源ごみになっていくにもかかわらず総事業費も上がるという見方でよいのか。アウトカム指標で、人口を分母として総事業費を割っている。人口が増えれば、アウトカム指標が減っていくという考え方でよいのか。指標を出すときに使用する人口の考え方が、0歳児から全て数えて日進市の総人口としているのか教えていただきたい。
環 境 課	市の予算は前年度の夏ぐらいから作成を始め、1月半ば頃に確定するというところでございます。時期的に前年度の決算を翌年度の予算に反映することは難しいため、1年遅れて実績を反映するというものでございます。また入札等で金額が下がることもございますし、例えば補助金等はどのくらい出るか分からない中で予算を組んでいます。ごみの回収があっても支払いができないということが無いように、決算に対して大きめの予算を組んでおります。アウトプット指標名については、委員のご指摘どおりに直していこうと思います。一人当たりの処理費用について、人口については、全ての人口で割戻しておりますので、0歳児からお年寄りまでの総数で指標を出している状況でございます。
委 員	1つ目の質問に対して答えになっていない。予算が増えた理由が知りたい。予備費があるため予算が増えているという回答だと思うが、前々年度の決算額、前年度の予算額、前年度の決算額と、推移をみると今年度の予算額が1.1倍になっているが何か大きな理由があるのか。それが、色々な入札の中で大きく金額が上がれば予算額が上がっていくと思うが、何か要因があるのか。予算額の中で予備費もあり積算した結果ということか。
環 境 課	予算につきましては、設計を組んで予算を組んで実際の契約額があり、決算があります。あるいは、予算を作り、実績に伴って決算額が確定するというところでございます。そのため設計額を上回る契約というのはあり得ませんので、余裕を持つというのは、適正ではないかもしれませんが、予算が執行できるように最低限の予算を計上し、結果として差額が生じてしまっているというところでございます。収集量についても適正な量を算定しておりますが、決算額からすると多めになってしまいます。また収集運搬は、収集量に関係なく現場を回っておりますので、収集量が仮に減っても収集費用は変わりませんし、仮に収集量が増えても費用は変わらない性質のものでございます。中間処理費用は実績に応じてお支払させていただきます。
委 員	事務事業評価シートとパワーポイントの資料は関連性がないのか。事務事業評価シートの事務事業の目的と内容や、前年度の取り組みにも、びんやかんについて

発 言 者	内 容
	て出てくるが、パワーポイント資料には、びんやかんが一切出てこずプラスチックのことに記載されている。そのため、パワーポイント資料は全然違う方向にしている感じがするが、それが関連するのか、まったく関連性がないのか、また、ごみの収集にあたって費用がどうかということについて検討をしているのか、わからない。
環 境 課	事務事業評価シートについては、資源物、びん、かん、プラスチック全てを含めたシートでございます。パワーポイントの資料が、プラスチックに焦点をあてているのは、環境課でプラスチックの方を問題と捉えており、びん、かんについては、問題と捉えておらず、この事業の中でプラスチックについて特に問題と捉えているということです。事務事業評価シートの前年度の取り組みについては、プラスチックについては、平成14年度から続けてやっていますが、平成30年度の取り組みとしましては、陶磁器、ガラスを新たに始めたものですので、プラスチックのように通常取り組んでいるものについては記載していません。そのため事務事業評価シートとパワーポイントの資料については、一致しない部分もあります。
委 員	一致しないものが並んでいるなら、どちらかが必要ないのではないかと。
環 境 課	どちらかという評価シートがベースになっています。
委 員	それがベースなら、パワーポイントの資料にもそのことが書いていなくてもよいのかと思う。例えばびん、かんの取り組みについて説明し、プラスチックの方に重要性があるため、プラスチックの方に取り組むというならわかるが、びん、かんについては、ひとつも出てこない。それでは説明が良くわからない。
環 境 課	品目毎の回収量等については、出てくるものもありますが、事務事業評価シートと環境課が問題としていることの関係性については11月に向けて検討したいと思います。
委 員	中間処理業者が指定で決まっているとのことだが、相見積もりで安いところに委託するということにはならないのか。
環 境 課	先ほどの説明を訂正させていただきますが、中間処理業者については、日進市で選定しており、その先の処理については、法律で決められております。ただ、選定できる事業者が少なく限られておまして、実際は随意契約をしております。
委 員	そもそも、ごみ全体の排出量が把握できるものなのか。家庭用ごみと事業所ごみに分けられるとなっているが、ごみの中にも色々な種類があり、どこかに捨てられるごみを回収して、資源として利用できるものはリサイクルしている。その仕組みを行政が作っていると理解している。この事業は全体のごみを減らしたい、そして資源として利用できるものはリサイクルするというものだが、効果度としては事務事業評価シートにリサイクル率という言葉が出ていたので、どのくらいのごみが排出され、資源化されているかという基本的なことが知りたい。その上で、回収費用がいくらか、リサイクルできるものがどれくらいあって、それを再

発 言 者	内 容
	<p>資源化することによって利益や収入になるのかを知りたい。そういう全体の仕組みは一般市民からしたらわかりにくい。この事業をどのようにしていくのか、断片的にはわかるが、内容をもう少しわかりやすく説明していただけるとよいと思う。一般の方にも、ごみとは何かという部分に関しては浸透しているかと思うが、もう少し大きな部分になると仕組みについてポイントを説明してもらった上で、どのようにしていきたいかを整理してもらおうと分かりやすいかと思う。</p>
会 長	<p>時間もないため、今委員からご意見等があった部分についてまとめてもらうことをお願いしたい。何を進めていくのかがわかりにくい。効果的な回収方法についてとあるのに、現実の課題としてあがっているものは回収方法とリンクしている部分が少ないと思います。今の流れにおいて、日進市としてコントロールできる部分とできない部分があると思います。コントロールできない中でもこの数年でどのようにやっていくのか大きい方向性があることが重要です。財政的な部分と環境のどちらの優先度が高いのかによりますが、それは方向性が重要になってくると思いますので、そのあたりをまとめてもらって11月に資料を出してもらいたいと思います。今回の資料の課題③についてはテーマとまったくリンクしないわけではないが、議論すべきかどうか検討をした方がよい。色々なことに関係はするが、色々なことをやってしまうと時間も限られており議論ができないため、まとめてほしい。アウトカム指標については、資源ごみ回収をやることによって、何に成果があるのかを表すのに今の指標は適切でないかもしれません。もう一度考えていただくと議論が深まるかもしれません。</p>
環 境 課	<p>委員からいただいた意見をもとに全体的にわかりやすくしたいと思います。</p>
会 長	<p>では、テーマ型評価として、「多様な媒体・方法による広報活動の推進」について、担当課から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>説明の前に参考となる動画（にしんテレビ）を放映</p>
秘 書 広 報 課	<p>（資料2に沿って説明）</p>
会 長	<p>今の事務局の説明に関して質疑・意見等がありますか。</p>
委 員	<p>資料の中にチャンネル登録者数147人というのがあるが、これはYouTube登録者数ということで、これについて市民の方に何か情報提供をしているのか。登録手続きはどのように行うのか。生駒市は登録者数が476人となっているが、日進市として目標の人数はどれぐらいか。</p>
秘 書 広 報 課	<p>登録者数は特に広報しているわけではありません。動画はホームページから登録すると通知がきます。市のホームページ上にYouTubeの動画を貼り付けてあります。最終的に目標は決めていませんが、10分の番組を作っても3分以内しか見られていないため、できるだけ短いものにした方がより見ていただけるのではと思っております。10分だと間延びしてしまうため、できるだけ短いものにしたと考えております。</p>
委 員	<p>ケーブルテレビのチャンネルで、日進、豊明、東郷、緑区の情報をやっている。</p>

発 言 者	内 容
	不審者情報も割とリアルタイムでやっている。この放送に関して、ケーブルテレビが独自でやっているのか市が委託しているのか教えていただきたい。
秘書広報課	CCネットの12チャンネルは、ケーブルテレビの独自番組であるため、委託料等はありません。これについて市からの協力があるとすれば、市の市政情報をマスコミ同様にCCネットにも流している点があげられます。
委 員	急に生駒市が資料中に登場しているのは何か意図があるのか。情報ツールは多様化しており年代によっても使用するものが違う中で、YouTube、フェイスブックに果たして目が向くのかとを感じる。また、広報にしんしか見られないような人に対してはどうなのか、そういうことも考えた方がよいのではないか。個人的には、市民が主体的に情報を展開する方が良い。例えば、市が市民に向けて流したい情報があったとしても、年代によって違うかもしれないが、仲間内で情報をシェアできる方が、広がりを見せるのではないかと思う。
秘書広報課	生駒市を取り上げた理由ですが、生駒市も以前はケーブルテレビを使っていましたが、現在はそれを変更しております。その後劇的に動画のチャンネル登録者数が増えたというのをたまたま知ったということです。意図的に生駒市を取り上げた訳ではありません。情報ツールについては、色々なものを使っていきたいとは思っていますが、今のテレビについては、あまりにも見られていない印象なので、今回取り上げております。情報のシェアについては、ツイッターについてはできますが、フェイスブックについてはセキュリティ上、できなくなっているため、今後も各職員が情報をシェアできるような仕組みができるようなら考えていきたいと思えます。
委 員	問題意識として実際に情報が足りていない市民がいることが前提なのか。そうであるなら対象が若者の場合、LINE等のメディアを使っていくことが有効で、高齢者に情報が届いていないということが前提ならテレビを充実させていった方が良いということになるがいかかが。
秘書広報課	問題意識としましては、大前提として動画自体が老若男女含めて、そもそも見られていないということがあって、これがお年寄りに見られているというものがあれば使い方もあるのですが、先ほども出ましたが、CCネットの番組や民間放送のニュース、番組等で取り上げられることがあり、市としてもその番組制作の情報提供については協力をしている状況であるため、動画については、今度どうすべきか手探り状態です。YouTubeを配信後に、ほぼ視聴されていないことがわかり、再考をすべきと思った次第です。
会 長	情報が十分であれば、動画作成をやめるというのが一番じゃないかなとも思います。また動画作成を続けるのであれば、パソコン、スマートフォン、タブレット、テレビ、どれを使って視聴をされているのかを調査いただきたい。もしすでに分かっていたら教えて欲しい。またテレビをリアルタイムで見えていないのであれば、いつの時間、どのような生活者がそれを見ているのかを検討する必要があります。

発 言 者	内 容
	<p>る。説明の中で平均視聴時間の話があったが、あれは視聴回数とトータル視聴時間で計算して出すものでしょうか。</p>
秘書広報課	<p>動画作成をやめるのが一つということもありますが、それも含めて、皆様方からご意見いただければと思います。何を利用して視聴しているかについては、YouTube の分析ツールの内容によるとパソコンよりスマートフォンで見られている方が多いという状況になっています。正確ではありませんが6割ぐらいがスマートフォン、残りの3割ぐらいがパソコンやそれ以外となっております。今後動画配信を、ターゲットを絞ってやっていくにしてもスマートフォンに絞ってやっていくのがよいのかと思っています。平均視聴時間については、ツールから計算されているもので、おそらく視聴回数と視聴時間から出されたものだと思います。母数も少ないため正確性には欠けるかもしれませんが他に指標がないため、それを使用しております。</p>
委 員	<p>多様な媒体・方法による広報活動の推進をしたいということで、資料のアウトカム指標を見てみると、日進市の情報は広報につしんを使って87.6%、9割近くは知り得ているということで、行政改革の観点からいくと、その他の割合が低いものは広報する意味がないためやめたほうが良いという事になってしまう。それでも、時代にあった提供方法は何かというテーマを掲げられているということは、市としては、今後方向性を変えて、紙ベースは極力やめて、ホームページを中心に情報提供をしていきたいのか、方向性としてどのように考えているのか、それを教えていただきたい。</p>
秘書広報課	<p>紙媒体については、いくら情報が進んでも、新聞がインターネット社会になっても残っているように、広報につしん自体をやめるという選択肢はもっておりません。ただ、動画を作るにあたり、その特性を活かしていかにかに有効に皆さんへ届けられるような番組を作っていくかについて、皆さんにご意見をいただきたい。</p>
委 員	<p>時間もないため、11月に向けて、委員からの意見を資料にまとめていただければと思います。また、目的として全ての方に確実に情報を届けるというものがありませんでしたが、個人別の情報なのか、災害情報等の全員に知らせるべき情報なのか、知ればより市のことが良くわかり有益になるシティプロモーション的な情報なのか、日進市がやっている媒体がどのように働くかその辺りを整理すると良いと思います。また、資料中にあるアンケート結果について、年齢別、性別等もわかるのであれば、そういう情報も出していただきたいです。</p>
会 長	<p>次に議題（2）「第2次経営改革プランの進捗状況について」、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>(資料4に沿って説明)</p>
会 長	<p>今の事務局の説明に関して質疑・意見等がありますか。量が多いため、昨年と変わったところについて説明がありました。その他の部分につきましては委員の皆様で目を通していただいて、またご質問がありましたら、事務局に伝えていた</p>

発 言 者	内 容
	できればと思います。
会 長	それでは、本日の議題はこれで終了しますので、事務局へお返しします。
	7 閉会（午後4時10分）